

救命救急センターの評価結果（平成18年度）について

1 評価の目的

- 救命救急センターの評価については、救急医療体制基本問題検討会報告書（平成9年12月）における「既存の救命救急センターを再評価し、その機能を強化する」との提言等を踏まえ、平成11年度から救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施している。
- 評価結果は、平成11年度から平成17年度まで救命救急センターに対する運営費補助に反映させてきた。

・ 充実段階A：補助基準額の100%を交付
・ 充実段階B：補助基準額の90%を交付
・ 充実段階C：補助基準額の80%を交付

2. 評価結果の概要

- 平成17年12月31日までに運営を開始した全国189ヶ所の救命救急センターを対象としており、各センターの評価結果（充実段階）は、資料1のとおりである。
- 充実段階Aと評価された施設の割合は100%であり（平成17年度は97.7%）、すべての施設が充実段階Aとなっている。（資料2、3参照）

3. 評価の方法及び評価結果に関する留意事項

- 各救命救急センターからの診療体制や患者受入実績等に関する報告結果を点数化し、当該点数を基本として、各施設の充実段階をA、B、Cに区分した。（資料4参照）
- 評価の対象となった診療体制等は、平成17年の実績に基づいている。
- 評価は、診療の体制面を中心に行っており、各救命救急センターの診療水準そのものを評価したものではない。

4. 新型救命救急センターの評価について

- 平成17年度から運営を開始した新型救命救急センター（10～19床規模）について、別途評価方法を定め（資料5参照）、評価を行った。

救命救急センター別充実段階(平成18年度)

番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価	
1	北海道	旭川赤十字病院		日赤	A	
2		北海道がんセンター		国立病院機構	A	
3		市立函館病院		函館市	A	
4		市立釧路総合病院		釧路市	A	
5		総合病院北見赤十字病院		日赤	A	
6		市立札幌病院		札幌市	A	
7		帯広厚生病院		厚生連	A	
8		札幌医科大学附属病院		札幌市	A	
9		日鋼記念病院	新型	医療法人社団	A	
10		手稲溪仁会病院	新型	医療法人	A	
11	青森県	青森県立中央病院		青森県	A	
12	岩手県	八戸市立市民病院		八戸市	A	
13		岩手医科大学附属病院		学校法人	A	
14		県立久慈病院		岩手県	A	
15		県立大船渡病院		岩手県	A	
16	宮城県	仙台医療センター		国立病院機構	A	
17		仙台市立病院		仙台市	A	
18		古川市立病院		古川市	A	
19	秋田県	秋田赤十字病院		日赤	A	
20	山形県	山形県立中央病院		山形県	A	
21		公立置賜総合病院		置賜広域病院組合	A	
22	福島県	いわき市立総合磐城共立病院		いわき市	A	
23		財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院		財団法人	A	
24		総合会津中央病院		財団法人	A	
25	茨城県	水戸医療センター		国立病院機構	A	
26		筑波メディカルセンター病院		財団法人	A	
27		総合病院土浦協同病院		厚生連	A	
28		茨城西南医療センター病院		厚生連	A	
29	栃木県	済生会宇都宮病院		済生会	A	
30		足利赤十字病院		日赤	A	
31		大田原赤十字病院		日赤	A	
32		獨協医科大学病院		学校法人	A	
33		自治医科大学附属病院		学校法人	A	
34	群馬県	高崎病院		国立病院機構	A	
35		前橋赤十字病院		日赤	A	
36	埼玉県	さいたま赤十字病院		日赤	A	
37		埼玉医科大学総合医療センター		学校法人	A	
38		深谷赤十字病院		日赤	A	
39		防衛医科大学学校病院		防衛庁	A	
40		川口市立医療センター		川口市長	A	
41		獨協医科大学越谷病院		学校法人	A	
42	千葉県	千葉県救急医療センター		千葉県	A	
43		総合病院国保旭中央病院		市町村	A	
44		国保直営総合病院君津中央病院		市町村	A	
45		亀田総合病院		医療法人	A	
46		国保松戸市立病院		松戸市	A	
47		成田赤十字病院		日赤	A	
48		船橋市立医療センター		船橋市	A	
49		日本医科大学千葉北総病院		学校法人	A	
50			順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院		学校法人	A

番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価
51	東京都	日本医科大学付属病院		学校法人	A
52		東京医療センター		国立病院機構	A
53		東邦大学医療センター大森病院		学校法人	A
54		杏林大学医学部付属病院		学校法人	A
55		都立広尾病院		東京都	A
56		東京医科大学八王子医療センター		学校法人	A
57		武蔵野赤十字病院		日赤	A
58		帝京大学医学部附属病院		学校法人	A
59		日本医科大学多摩永山病院		学校法人	A
60		都立墨東病院		東京都	A
61		東京女子医科大学病院		学校法人	A
62		都立府中病院		東京都	A
63		駿河台日本大学病院		学校法人	A
64		日本大学医学部附属板橋病院		学校法人	A
65		公立昭和病院		病院組合	A
66		災害医療センター		国立病院機構	A
67		東京医科大学病院		学校法人	A
68		昭和大学病院		学校法人	A
69		東京女子医科大学附属東医療センター		学校法人	A
70		聖路加国際病院		財団法人	A
71		青梅市立総合病院		青梅市	A
72	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院		学校法人	A
73		横浜医療センター		国立病院機構	A
74		北里大学病院		学校法人	A
75		東海大学医学部付属病院		学校法人	A
76		昭和大学藤が丘病院		学校法人	A
77		聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		学校法人	A
78		横浜国立大学医学部附属市民総合医療センター		横浜市	A
79		国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院		国共済	A
80	新潟県	長岡赤十字病院		日赤	A
81		新潟市民病院		新潟市	A
82		新潟県立中央病院		新潟県	A
83	富山県	富山県立中央病院		富山県	A
84		厚生連高岡病院		厚生連	A
85	石川県	石川県立中央病院		石川県	A
86		公立能登総合病院		七尾鹿島広域圏事務組合	A
87	福井県	福井県立病院		福井県	A
88	山梨県	山梨県立中央病院		山梨県	A
89	長野県	昭和伊南総合病院		伊南行政組合	A
90		長野赤十字病院		日赤	A
91		佐久総合病院		厚生連	A
92		慈泉会相澤病院	新型	特定医療法人	A
93		信州大学医学部附属病院		国立大学法人	A
94	岐阜県	県立岐阜病院		岐阜県	A
95		県立多治見病院		岐阜県	A
96		高山赤十字病院		日赤	A
97		大垣市民病院		大垣市	A
98		厚生連中濃厚生病院		厚生連	A
99		岐阜大学医学部附属病院		国立大学法人	A
100	静岡県	静岡済生会総合病院		済生会	A

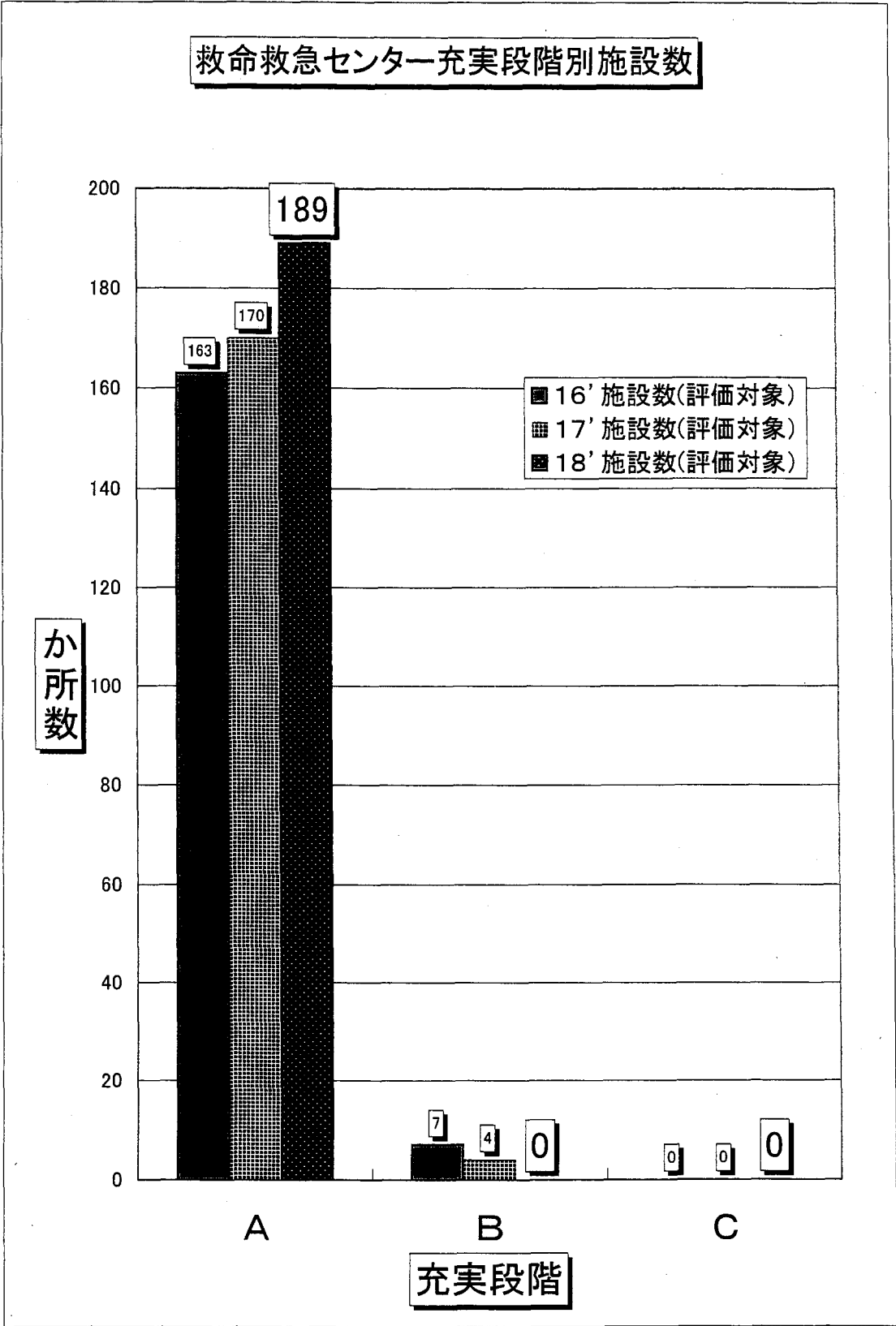
番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価
101	(静岡県)	順天堂大学医学部附属静岡病院		学校法人	A
102		県西部浜松医療センター		浜松市	A
103		静岡赤十字病院		日赤	A
104		聖隷三方原病院		社会福祉法人	A
105		沼津市立病院	新型	沼津市	A
106	愛知県	名古屋掖済会病院		社団法人	A
107		名古屋医療センター		国立病院機構	A
108		愛知医科大学附属病院		学校法人	A
109		藤田保健衛生大学病院		学校法人	A
110		岡崎市民病院		岡崎市	A
111		豊橋市民病院		豊橋市	A
112		名古屋第二赤十字病院		日赤	A
113		小牧市民病院		小牧市	A
114		厚生連安城更生病院		厚生連	A
115		社会保険中京病院		社団法人	A
116		名古屋第一赤十字病院		日赤	A
117		半田市立半田病院		半田市	A
118		三重県	山田赤十字病院		日赤
119	三重県立総合医療センター			三重県	A
120	滋賀県	大津赤十字病院		日赤	A
121		長浜赤十字病院		日赤	A
122		済生会滋賀県病院		済生会	A
123	京都府	京都第二赤十字病院		日赤	A
124		京都医療センター		国立病院機構	A
125		京都第一赤十字病院		日赤	A
126	大阪府	大阪府立急性期・総合医療センター		大阪府	A
127		関西医科大学附属滝井病院		学校法人	A
128		大阪府立千里救命救急センター		大阪府	A
129		大阪医療センター		国立病院機構	A
130		近畿大学医学部附属病院		学校法人	A
131		大阪府三島救命救急センター		財団法人	A
132		大阪市立総合医療センター		大阪市	A
133		大阪府立泉州救命救急センター		大阪府	A
134		大阪府立中河内救命救急センター		大阪府	A
135		大阪大学医学部附属病院		国立大学法人	A
136	兵庫県	神戸市立中央市民病院		神戸市	A
137		兵庫医科大学病院		学校法人	A
138		県立姫路循環器病センター		兵庫県	A
139		公立豊岡病院但馬救急センター		公立豊岡病院組合	A
140		兵庫県災害医療センター		兵庫県	A
141	奈良県	県立奈良病院		奈良県	A
142		奈良県立医科大学附属病院		奈良県	A
143		近畿大学医学部奈良病院		学校法人	A
144	和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター		日赤	A
145		和歌山県立医科大学附属病院		和歌山県	A
146	鳥取県	鳥取県立中央病院		鳥取県	A
147		鳥取大学医学部附属病院	新型	国立大学法人	A
148	島根県	島根県立中央病院		島根県	A
149		松江赤十字病院	新型	日赤	A
150		浜田医療センター	新型	国立病院機構	A

番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価
151	岡山県	川崎医科大学附属病院		学校法人	A
152		総合病院岡山赤十字病院		日赤	A
153		津山中央病院		財団法人	A
154	広島県	広島市立広島市民病院		広島市	A
155		呉医療センター		国立病院機構	A
156		県立広島病院		広島県	A
157		広島大学病院		国立大学法人	A
158		福山市民病院		福山市	A
159	山口県	岩国医療センター		国立病院機構	A
160		山口県立総合医療センター		山口県	A
161		山口大学医学部附属病院		国立大学法人	A
162		関門医療センター		国立病院機構	A
163	徳島県	徳島県立中央病院		徳島県	A
164		徳島赤十字病院		日赤	A
165		徳島県立三好病院	新型	徳島県	A
166	香川県	香川県立中央病院		香川県	A
167		香川大学医学部附属病院		国立大学法人	A
168	愛媛県	愛媛県立中央病院		愛媛県	A
169		愛媛県立新居浜病院		愛媛県	A
170		市立宇和島病院		宇和島市	A
171	高知県	高知赤十字病院		日赤	A
172		高知県・高知市病院企業団立高知医療センター		高知県・高知市病院企業団	A
173	福岡県	北九州市立八幡病院		北九州市	A
174		済生会福岡総合病院		済生会	A
175		久留米大学病院		学校法人	A
176		飯塚病院		株式会社	A
177		福岡大学病院		学校法人	A
178		北九州総合病院		医療法人	A
179	佐賀県	佐賀県立病院好生館		佐賀県	A
180		佐賀大学医学部附属病院		国立大学法人	A
181	長崎県	長崎医療センター		国立病院機構	A
182	熊本県	熊本赤十字病院		日赤	A
183		熊本医療センター		国立病院機構	A
184	大分県	大分市医師会立アルメイダ病院		大分市医師会	A
185	宮崎県	県立宮崎病院		宮崎県	A
186		県立延岡病院		宮崎県	A
187	鹿児島県	鹿児島市立病院		鹿児島市	A
188	沖縄県	沖縄県立中部病院		沖縄県	A
189		浦添総合病院	新型	医療法人	A

※施設名・開設者は平成18年5月1日現在

A…189

計 189施設



	A	B	C	計
16' 施設数(評価対象)	163	7	0	170
17' 施設数(評価対象)	170	4	0	174
18' 施設数(評価対象)	189	0	0	189
16' 構成割合(%)	95.9%	4.1%	0.0%	100.0%
17' 構成割合(%)	97.7%	2.3%	0.0%	100.0%
18' 構成割合(%)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

救命救急センター評価設置主体別充実段階

設置主体	充実段階 A	充実段階 B	充実段階 C	合 計
国	25 施設 (100 %)	—	—	25 施設 (100 %)
自治体	75 施設 (100 %)	—	—	75 施設 (100 %)
公 的 3 団体	38 施設 (100 %)	—	—	38 施設 (100 %)
民 間 (私立医大等)	51 施設 (100 %)	—	—	51 施設 (100 %)
全 体	189 施設 (100 %)	—	—	189 施設 (100 %)

※ 国には、国立病院機構、国立大学法人を含む。

※ 公的 3 団体は、日赤、済生会、厚生連。

救命救急センターの充実段階の評価方法について

1 「救急医療対策事業等の現況調について（平成17年12月末現在）」による調査の回答結果に基づき、「救命救急センターの評価項目及び配点」に基づく配点を行い、その合計点数の区分に応じ、次表のと通りの「充実段階」として評価する。

19点以上	充実段階A
12点以上18点以下	充実段階B
11点以下	充実段階C

2 上記の充実段階に関わらず、下記内容のすべてを満たす救命救急センターについては、「充実段階A」として評価する。

- ・ 重症患者数 750人以上
 - ・ 在院日数 7日以内
 - ・ 病床利用率 75%以上
 - ・ 診療点数 12,000点以上
 - ・ 院外患者受入率 55%以上
- かつ
かつ
かつ
かつ

救命救急センターの評価項目及び配点

- 1 二次医療圏における救急医療関係者協議会への参加状況
 - ・ 参加していない : Δ 1点
- 2 併設(母体)病院内におけるセンター機能の評価委員会の設置状況
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
 - ※ 単独センターにおいては、センター内設置で加点
- 3 空床確保の責任体制
 - ・ 併設(母体)病院で確保 : 2点
 - ・ センターで確保 : 0点
 - ※ 単独センターにおいては、センター確保で加点
- 4 空床確保数
 - ・ 5床以上 : 3点
 - ・ 4床 : 2点
 - ・ 3床 : 1点
 - ・ 特に確保に努めていない。0~2床 : 0点
 - ※ 確保病床数に幅がある場合は、平均、端数切り上げ
- 5 センター担当医師の勤務体制
 - ・ 救急医による専任チーム体制 又は
救急医を核とし各診療科との協力で専任チーム体制 : 3点
 - ・ 救急医を核とした各診療科との当直体制 : 2点
 - ・ その他 : 0点
- 6 救急専用電話の有無
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
- 7 救急専用電話の対応体制
 - ・ センター専任医、その他の医師 : 1点
 - ・ 上記以外 : Δ 1点

- 8 「受け入れ不可」の判断体制
・ 病院長、センター長、センター専任医以外 : Δ1点
- 9 救急救命士に対する指示体制
・ 救急専用電話により、必ず医師が即応以外 : Δ1点
- 10 診療データの集計・分析
・ 傷病別患者数（入院、外来、月別）
・ 重傷度分類患者数（入院、外来、月別） } : 1点 [全て揃って]
・ 外傷患者の各種スコア
・ その他 : 0点
- 11 救急医療についても検討する倫理委員会の設置状況
・ 有 : 1点
・ 無 : 0点
- 12 深夜帯におけるセンターの医師数
・ 5人以上 : 3点
・ 4人 : 2点
・ 3人 : 1点
・ 2人以下 : 0点
- 13 深夜帯におけるセンター以外の医師数
・ 2人以下 : Δ1点
- 14 センター病床の稼働率
(1) 集中治療病室のみ
・ 60%未満 : Δ1点
(2) 集中治療病室以外
・ 70%未満 : Δ1点
- 15 重症傷病者数
・ 1,000人以上 : 3点
・ 750人以上、1,000人未満 : 2点
・ 500人以上、750人未満 : 1点
・ 500人未満 : 0点
※ 30床未満のセンターのみ、患者数を30床換算する。

16 専任医師数

- ・ 5人以上 : 3点
- ・ 5人未満 : 0点

17 平均在院日数

- ・ 7日以内 : 3点
- ・ 7日超、11日以内 : 2点
- ・ 11日超、14日以内 : 1点
- ・ 14日超 : 0点

センター病床40床
以上の場合
3点
2点
1点

※ ただし、適用に当たっては、
14(2)が80%以上であること。

18 センター患者1人当たり平均入院診療点数

- ・ 10,000点以上

センター病床40床 以上の場合

 7,000点以上 : 2点
- ・ 10,000点未満

センター病床40床 以上の場合

 7,000点未満 : 0点

※ ただし、適用に当たっては、14(2)が80%以上であること。

19 救命救急士の研修受け入れ実績

- ・ 250人日以上 : 3点
- ・ 150人日以上、250人日未満 : 2点
- ・ 100人日以上、150人日未満 : 1点
- ・ 100人日未満 : 0点

20 貴院における医療事故防止に関するマニュアル

- ・ 無し : △1点

21 貴院における医療事故防止・患者安全をテーマにした研修

- ・ 実施していない : △1点

22 貴院における研修は年2回以上、又は、各部門(医師、看護師、診療技術、事務)別において年2回以上実施

- ・ している : 2点
- ・ していない : 0点

23 貴院における日本救急医学会専門医または認定医

- ・ いない : △1点(日本救急医学会指導医がいるなら減点しない)

24 貴院における日本救急医学会専門医数（認定医数及び認定医資格も持つ指導医数含む）

(1) センター専任医数

- ・ 5人以上 : 3点
- ・ 4人 : 2点
- ・ 3人 : 1点
- ・ 0～2人 : 0点

(2) センター外常勤医

- ・ 5人以上 : 1点
- ・ 5人未満 : 0点

資料5

新型救命救急センターの充実段階の評価方法について

- 1 「救急医療対策事業等の現況調について（平成17年12月末現在）」による調査の回答結果に基づき、「新型救命救急センターの評価項目及び配点」に基づく配点を行い、その合計点数を区分に応じ、次表のとおり「充実段階」として評価する。

19点以上	充実段階A
12点以上18点以下	充実段階B
11点以下	充実段階C

- 2 上記の充実段階に関わらず、下記内容のすべてを満たす救命救急センターについては、「充実段階A」として評価する。

- ・重症患者数 250人以上 かつ
- ・在院日数 7日以内 かつ
- ・病床利用率 75%以上 かつ
- ・診療点数 12,000点以上 かつ
- ・院外患者受入率 55%以上

新型救命救急センターの評価項目及び配点

- 1 二次医療圏における救急医療関係者協議会への参加状況
 - ・ 参加していない : Δ 1点

- 2 併設(母体)病院内におけるセンター機能の評価委員会の設置状況
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点

※単独センターにおいては、センター内設置で加点

- 3 空床確保の責任体制
 - ・ 併設(母体)病院で確保 : 2点
 - ・ センターで確保 : 0点

※単独センターにおいては、センター確保で加点

- 4 空床確保数
 - ・ 3床以上 : 3点
 - ・ 2床 : 2点
 - ・ 特に確保に努めていない。0~1床 : 0点

※ 確保病床数に幅がある場合は、平均、端数切り上げ

- 5 センター担当医師の勤務体制
 - ・ 救急医による専任チーム体制 又は
救急医を核とし各診療科との協力で専任チーム体制 : 3点
 - ・ 救急医を核とした各診療科との当直体制 : 2点
 - ・ その他 : 0点

- 6 救急専用電話の有無
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点

- 7 救急専用電話の対応体制
 - ・ センター専任医、その他の医師 : 1点
 - ・ 上記以外 : Δ 1点

- 8 「受け入れ不可」の判断体制
- ・ 病院長、センター長、センター専任医以外 : Δ 1点
- 9 救急救命士に対する指示体制
- ・ 救急専用電話により、必ず医師が即応以外 : Δ 1点
- 10 診療データの集計・分析
- ・ 傷病別患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 重傷度分類患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 外傷患者の各種スコア
 - ・ その他
- } : 1点（全て揃って）
- : 0点
- 11 救急医療についても検討する倫理委員会の設置状況
- ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
- 12 深夜帯におけるセンターの医師数
- ・ 3人以上 : 3点
 - ・ 2人 : 2点
 - ・ 1人以下 : 0点
- 13 深夜帯におけるセンター以外の医師数
- ・ 1人以下 : Δ 1点
- 14 センター病床の稼働率
- (1) 集中治療病室のみ
- ・ 60%未満 : Δ 1点
- (2) 集中治療室以外
- ・ 70%未満 : Δ 1点
- 15 重症傷病者数
- ・ 400人以上 : 3点
 - ・ 250人以上、400人未満 : 2点
 - ・ 200人以上、250人未満 : 1点
 - ・ 200人未満 : 0点

- 16 専任医師数
- ・ 3人以上 : 3点
 - ・ 2人 : 2点
 - ・ 0~1人 : 0点
- 17 平均在院日数
- ・ 7日以内 : 3点
 - ・ 7日超、11日以内 : 2点
 - ・ 11日超、14日以内 : 1点
 - ・ 14日超 : 0点
- 18 センター患者1人当たり平均入院診療点数
- ・ 10,000点以上 : 2点
 - ・ 10,000点未満 : 0点
- 19 救急救命士の研修受け入れ実績
- ・ 50人日以上 : 3点
 - ・ 25人日以上、50人日未満 : 2点
 - ・ 10人日以上、25人日未満 : 1点
 - ・ 10人日未満 : 0点
- 20 貴院における医療事故防止に関するマニュアル
- ・ 無し : Δ 1点
- 21 貴院における医療事故防止・患者安全をテーマにした研修
- ・ 実施していない : Δ 1点
- 22 貴院における研修は年2回以上、又は、各部門（医師、看護師、診療技術、事務）別において年2回以上実施
- ・ している : 2点
 - ・ していない : 0点
- 23 貴院における日本救急医学会専門医又は認定医
- ・ いない : Δ 1点（日本救急医学会指導医がいるなら減点しない）

24 貴院における日本救急医学会専門医数(認定医数及び認定医資格も持つ指導医数含む)

(1)センター専任医数

- ・ 3人以上 : 3点
- ・ 2人 : 2点
- ・ 1人 : 1点
- ・ 0人 : 0点

(2)センター外常勤医

- ・ 2人以上 : 1点
- ・ 2人未満 : 0点